

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第113号

H29. 11. 7

響いた歌声 新体育館での合唱コンクール

～ 学年ごとの成長を感じさせた合唱 と
ヴァイオリンとピアノ演奏に 聴き入って ～

11月2日(木)の合唱コンクールでは、多くのご来賓や保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。新体育館での3回目の合唱コンクール。前日1年生が素晴らしい動きで準備した、座席いっぱいにお越しいただいた皆様に拝見し、子供たちへの温かいご支援に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

1年生はトップバッターであり、初めてのコンクールに緊張も大きかったでしょう、リハーサルより声が小さくなってしまったのが残念でしたが、男子が変声期を迎えた1年生とは思えないほど音程がとれ、練習では2年生に近づく勢いでした。来年の対戦が楽しみです。2年生は経験もあり、堂々とした合唱でした。最高学年となる来年、まとまった合唱から、さらに表現豊かな合唱に仕上げていくのが楽しみです。そして3年生。男声パートが27人、アルトとソプラノは6、7名ずつと、バランスをとることが苦しい中で、大曲にチャレンジししっかり仕上げました。山あり谷ありの練習期間だったと思いますが、3年生の皆さんの成長した姿に、1、2年生があこがれをもったとともに、保護者の方々や先生たちは感動を覚えました。卒業式の合唱がとても楽しみです。

指揮者・伴奏者の皆さんは、夏休みに登校し、森田先生に教えていただきながら練習を重ねてきました。準備を進めてきた実行委員も含め、そういった努力が支えとなって、感動的なハーモニーをつくりだしたと思います。実行委員長の さんの頑張りも光りました。長期にわたり子供たちを激励していただき、ありがとうございました。

後半のミニコンサート、いかがでしたでしょうか。生のヴァイオリンの音色やヴァイオリンとピアノのコラボを身近に聴くものでした。生徒たちにとって、かつて同じ豊橋市内の中学校で合唱コンクールを経験した先輩が、音楽という特技を磨き、夢をかなえて大きなオーケストラで活躍したり、海外で羽ばたき、また、地元で皆を癒すコンサートを開いたりしている…生演奏とともに、奏者のそんな生き様も生徒たちに伝えたかったものです。生徒たち、ご来場の皆さまは、どの曲が心に残っているのでしょうか。



「第2回 中学校合唱フェスティバル」に参加して

教育委員会から市内中学校に対して募集があり、3年生の思いを森田先生が受けとめて、参加をしました。応募した学校は8校でした。

さんの「花は咲く」のBGMでの入場後、さんの学校紹介。竜巻災害への支援の姿など、前芝の子供たちがどれだけふるさとを愛し、地域への思いをもっているかが、会場全体に伝わりました。その雰囲気の中で、前芝愛あふれる温かな合唱が始まりました。後で、前芝の子供たちの、そんな姿に感動したと、他校の先生が連絡をくださいました。

他の7校は、伝統の合唱部や、校内合唱コンクールの優勝学級が出演したり、プロに教えていただいている有志合唱だったりしました。そういった素晴らしい演奏をしっかりと聴けた3年生は素敵でした。



【リハーサルで立ち位置を確認】

前芝学校のキャリア教育

「学校通信第 111 号」でお伝えしたように、10 月 24 日の全校朝会では、1 年生の「福祉体験学習」や 2 年生の「名古屋分散学習」について、代表生徒が感想をリリーススピーチしてくれました。どの生徒も原稿を読むのではなく、全て暗記や自分の言葉で立派に発表しました。頑張っただけの可能性を広げている生徒たちに感動を覚えるとともに、丁寧に指導している担任の先生方の素晴らしさを感じました。そこに、素直な前芝の生徒たちがいるからでしょうね。

発表者の中から一部の生徒の感想を掲載します。

【福祉体験学習】

■僕は「作楽荘」という高齢者を対象とした施設に行きました。そこで学んだことは、まず大きな声で話すということです。なぜかというと、高齢者の方々は耳が遠い人が多いので、大きな声で話しかけないと気づいてもらえないことが多いからです。これからお年寄りに声をかける時は、声を大きくして話しかけようと思いました。

■僕が行ったのは「ワークス岩西」です。そこで感じたことは、人と人との協力です。一人一人にやる事が分担されていて次の作業の人にスムーズに渡っていたので、僕も作業と一緒にしてやりやすかったです。障害者の方々はしゃべらずに、黙々と作業をしていました。僕も担当の方がすごく優しく接してくださり、難しい作業もできました。

■私は「ひかり乳児院」に行きました。乳児院は親がいなかったりするなどの都合で預けられた子供たちがみんなで過ごしているところでした。私は乳児院には元気のない子供たちがいるというイメージでした、行ってみるとそうではなく、私があやしたりすると元気に笑ってくれて安心しました。また、施設の方があやすともっと早く笑顔になり、素敵な職業だと思いました。私も、将来人のために役に立つ大人になりたいと思っています。

【名古屋分散学習】

■私たち 1 班は、愛知ヤクルト工場に行きました。愛知ヤクルト工場ではヤクルトが作られる過程を知りました。また、82 年前に一人の医学博士によって見つけられたシロタ株を予防医学として使っていることや、誰もが健康でいられるようにという願いを込めていることを学びました。

■僕たちが訪問したトヨタ産業技術記念館はトヨタの機械の博物館です。トヨタの車の部品を古いものから新しいものまで動かし、どういう風に機械が良くなっていったのかを知ることができたり、トヨタの技術を楽しむテクノランドで身をもって学ぶことができたりしました。そのほかにも、トヨタの新製品である水素で動く車の MIRAI や、そのほかにもすごい車を見ることができました。

■私たち 3 班はアサヒビール工場に行きました。アサヒビール工場ではビール作りの工程を見学させてもらいました。缶にビールを入れたら異物混入を防ぐためにすぐに蓋をするなど商品に不具合がないように気をつけていました。

■名古屋港水族館では、水槽の中を掃除している人が、魚を見ているお客さんの邪魔にならないようにしたり、注目されたら手を振ったりして、お客さんのことを一番に考えて仕事をしていることがわかりました。

■私たち 4 班は中京テレビへ行きました。中京テレビでは、陰で支える人たちがいるからこそテレビができることを学びました。実際にニュースの撮影のリハーサルを見させていただいたら、スタッフの人の方が人数が多いのに、忙しそうでした。でも、そのスタッフが素早く行動することでほかのアナウンサーさんなどはスムーズに仕事ができしていました。テレビには映らないけどその人たちがいるからこそテレビが見られるのだと知りました。